

# 第9回 五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会

## 1. 概要

第9回協議会では、協議会参加機関の追加に伴う規約の改定、令和3年以降の協議会の取組方針について諮問し了承された。また、協議会の取組方針に基づく実施状況について、各機関より令和3年度に実施した内容について報告が行われた。アドバイザー（宮崎大学名誉教授：杉尾氏）からは、「次の世代を担う子供たち向けの人材育成」に向けた検討の必要性についてアドバイスを頂いた。

## 2. 実施状況

○日 時：令和4年3月25日(金) 14:30~15:15 ○場 所：各機関とWeb会議  
 ○出席者：延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、宮崎県、延岡土木事務所、西臼杵支庁、熊本県、阿蘇地域振興局、上益城地域振興局、大分県、佐伯土木事務所、宮崎地方気象台、九州電力(株)、アドバイザー、延岡河川国道事務所

## 3. 議事内容

- 協議会参加機関の追加に伴う規約の改定
  - 令和3年度以降の協議会の取組方針について
- ### 4. 協議会の取組方針に基づく令和3年度実施状況について
- |           |   |
|-----------|---|
| 延岡河川国道事務所 | ：企業向け水防災啓発活動の取組<br>：マイハザードマップ、コミュニティタイムライン<br>：実効性のある避難に向けた情報提供<br>：Twitterを用いた洪水予報の周知  |
| 宮崎地方気象台   | ：eラーニング教材 改修版<br>：地方公共団体防災担当者向け 気象防災ワークショップ   |
| 延岡土木事務所   | ：学校教育機関を対象とした防災教育の推進<br>：迅速かつ円滑な防災対応のための水防団等への連絡体制の再確認  |
| 宮崎県西臼杵支庁  | ：学校教育機関を対象とした防災教育の推進<br>：迅速かつ円滑な防災対応のための水防団等への連絡体制の再確認  |
| 熊本県       | ：五ヶ瀬川水系の県管理河川における浸水想定区域図の作成・公表<br>：要配慮者利用施設管理者に対する避難確保計画作成  |
| 大分県       | ：ホームページ「防災情報くまもと」の公開<br>：中小河川等洪水時ハザードマップ作成にかかる公表<br>：県民安全・安心メールやおおいた防災アプリによる防災情報配信<br>：おおいた防災VRや防災啓発動画による防災意識の醸成  |
| 延岡市       | ：防災組織、自治会等を対象とした防災訓練、防災教育等の推進<br>：外国人向けの多言語での防災情報提供の検討<br>：要配慮者等を対象にした避難体制の確立及び避難方法の周知<br>：避難確保計画の策定促進個別避難計画作成及び避難訓練等の支援<br>：災害時における逃げ遅れをなくするため避難所及び避難路等の整備<br>：迅速な災害情報入手のための事業者等と連携した情報提供の検討 |
| 佐伯市       | ：佐伯市ハザードマップ・防災マップ   |
| 高千穂町      | ：高千穂町防災マップWEB版  |
| 日之影町      | ：防災拠点の整備  |
| 五ヶ瀬町      | ：防災拠点の整備  |
| 高森町       | ：地域防災マップの作成   |
| 高山都       | ：防災サイト  |

## 4. 主な意見・コメント等

- ◆人材育成（ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組）
- ・次の世代を担う子供たちが災害時のリーダーとなるような人材育成という観点も必要ではないか。
- ・五ヶ瀬中学校などデジタル活用した取組は水防災の意識の向上の1つの糸口。
- ・中高生が開発するソフトは家庭や地域の中で話題になり水防災にプラスに寄与する。
- ・デジタルデータを如何に活用するかなどの施策の検討も今後深めて欲しい。



延岡土木事務所 河川砂防課長  
 延岡土木事務所 所長  
 延岡河川国道事務所 技術副所長  
 延岡河川国道事務所 調査第一課長